

# 技の守り人 匠会通信

越後与板打刃物匠会

No.35 2019/6/6

## 惜別 最後まで貫いた「職人魂」高木順一さん

国じゅうが新しい元号の発表を息を吞んで待ち受けていた3月の終わり。与板打刃物にとって貴重なチョウナ鍛冶職人、匠会会員の高木さんが逝去されました。残念でなりません。奈良薬師寺の東塔が平成の大修理を終える今年高木さんが造ったチョウナが修理に使われて、立派によみがえった東塔がTV 特集番組でお披露目し、大きな話題となるはずでした。



関西のTV局が取材で仕事場に入った時、「いつ放送するのかわかるとしたら工事終了後の特集番組だっというんだ。五年後なんて言ったら、俺はもうあっちへ往っちゃってるよって笑ったんだ。」高木さんの笑顔が思い出されます。まだ体調が戻っていないのに、体験工房へ指導に駆けつけて下さった姿が忘れられません。

きっと、もっともっと仕事をしたかったのでしょう。まさに「職人魂」を貫き通した高木さんの人生でした。心からご冥福をお祈りします。

## さあ、三年目の鍛冶体験工房スタートします！

与板の現役職人が力を合わせて運営する体験工房この6月22日から年間10回開館します。研ぎ指導に坂口さんが加わって下さることになり、与板鍛冶職人が気持ちを一つにして頑張っていく気運が整いました。2日には事前準備作業を終え、新たな参加者との出会いを楽しみにしています。

## 上野公園「越後長岡広域観光フェア」に出展！



5月18日19日の二日間好天に恵まれた上野公園はたくさんの人出でにぎわいました。匠会も二年ぶりの出展でした。



今回の特徴的なことは海外からのお客様が増えたこと。日本の刃物の品質が良いことを知って

いて、さまざまな国籍の旅行客が手に取って見てはいろいろ質問をしてくれますので、会員もまさに汗だくの対応でした。包丁だけでなく、鉋や彫刻刀、専門的な刃物にもお客様の関心は高く、優れたホンモノを求めている層が確実に増えていると感じました。一方、切り出しづくり体験コーナーでは一日10名限定で実施しましたが、暑さをものともせず次々と体験者が現れ、果敢にチャレンジする人たちが。



伝統工芸に強い関心を持っている都会人の姿に、私たちも教わることの多い二日間でした。